
『キャプテン翼青春録』

鳳雛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『キャプテン翼青春録』

【Zマーク】

Z3839E

【作者名】

鳳雛

【あらすじ】

サッカーの試合が終わりました。翼くん達は、シャワー室で汗を流しました。仲間達は、石崎くんをからかい、笑つてました。『チンコは友達、くさくない』。キャプテン翼、青春録です。

(前書き)

友情はあるんだよね。

キャプテン翼率いる

南葛中学は、

全国中学サッカー大会V3に挑んだ。

しかし、簡単に勝てるチームばかりじゃなかつた。

翼の前に立ちふさがるライバルたち。

新田&大友カルテット

早田

立花兄弟

次藤&佐野

松山

そして最大のライバル

日向小次郎&若島津の東邦。

しかし、

結果は南葛と東邦の同時優勝だった。

優勝を果たし、

南葛中学サッカー部のメンバーは、試合から帰ると、シャワーで汗を流していた。

「やつこえば、石崎」

「なんだよ滝?」

「やつそろチン口の皮は剥けたのかよ」

あはははは

みんなが笑う。

「うむせえなあ。ほつとこてくれよ。剥けてないって知つてて、毎回同じ事聞くなー。」

「いいじゃないか、どれどれ、見せてみりよ石崎」

「よしてくれよ」

嫌がる石崎を捕まえる井沢と来杉。

そして滝が石崎のチン口を確かめる。

「どれ、どれ

「やめのよー」抵抗する高杉。

「いいかげん、やめたら、どうへ、あんたらしつこい

と森崎が止めたが、
聞きやしない。

しかしそうく、遅れてやつてきた高杉。

「お前ら、暇なことしてなこでちやんと体洗えよな

体もansomもでかい高杉だった。

「ちやんとチンカスも洗つとかよ

と高杉は石崎に囁いた。

「わかつてゐて」と石崎。

「お前チンカスくさいからなあ」

と皆が石崎をからかっていたら、

「みんな！
なんだ言つたら分かるんだ！
いつもいつも
石崎君をからかい過ぎなんじゃないのか？ 石崎君が困つてゐるだろ
う」

と、一番遅れて
キヤプテンの大空翼が、
シャワールームに入つてきた。

「おい、翼。なんとかしてくれよ。シャワーの度にいれじや、へこ
むぜ」

と石崎。

「だつて、石崎のチンカス、きたねーから

と滝達が言つと…

「チンコは友達臭くない！」

と翼君は言つて、

石崎のチンコを洗い始めた。

「ああっ、翼、お前」

石崎は驚く。

「石崎君のチンカスが臭いって言つたり、いつやつて脂が洗えばいいじゃないか！」

「翼、お前…」

石崎も滝達も
ドキリとした。

「それが、友情っていうもんじゃないのか！ なあ、みんなー。」

「つ、翼…！」

皆は感動した。

「俺も翼の言つ通りだと思つ」

と監督。

「監督ー。」

と、微笑む翼。

「よし、いいよ、

皆が皆のチンコを洗いつゝやつー。」

翼君の提案に皆が賛成した。

「じゃあ、翼のチンコはお返しに俺が洗うぜ」

と石崎が翼のチンコを洗つ。

「ありがとう石崎君。嬉しいよ」

「いい感じよ翼。それでも、翼、お前のチンコでかいな。
立派だぜ。だけど、いつかは、このチノコがアネコのものになるん
だろつなア」

「やめてくれよ石崎君。濡れちゃこよ。俺達まだ、キスもまだなん
だ」

あははははは……

「顔が赤いぜ翼」

「岬が嫉妬するんじゃねーのか?」

「もつ、からかわないでくれよ。石崎君、そんなこと言つない、
うするべ!」

「あ、翼、やめら、やめらって、痛いって」

「あはははは……」

翼君が石崎君の包茎を強引に剥いでいた。だから、石崎君が暴れ
た。

あると、

「あ、石崎君のおひんちんが勃起したー。」

「石崎、てめえ、剥けでない?」

「あ、ホントだ。つーか、つーか、痛い!」

「馬鹿してんじやないよ。早く元にもどせ」と監督。

「またぐ馬鹿してんじやないよ」

監督があわてて石崎の皮を元に戻した。

「翼、冗談でも無茶なことするなよ。真性包茎、強引に剥いたら皮がカリで締め付けられで、マジやばーことなつてたぞ

「監督、じめんなさい」

「しょうがないな」

「石崎君、はじめんね

「いいよ翼。そのかわい、翼のそのおひさしが勃起したといひが見てみたいな」と石崎。

と石崎。

「はあ？」

困る翼。

「石崎、調子にのるなよー。」

監督に叱られる石崎君だった。

あはははは

あはははは…

シャワールームから響き渡る少年達の声は、爽やかな風となって、青く澄み渡る大空へと舞いあがるのであった。

Fin.

(後書き)

青春だなあ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3839e/>

『キャプテン翼青春録』

2010年10月24日13時48分発行